

学校だより



三川っ子



ホームページ：QRコード



令和4年度第9号

令和5年1月17日

旭市立三川小学校

2023年が始まりました。2023年の十二支（じゅうにし）は、4番目にあたる「卯（う）」で、うさぎを意味し、穏やかな存在であることから『家内安全』や『飛躍』などを表しています。

卯年の特徴は、温厚かつ従順であり、新しいことを始める上で最適な年ともされており、うさぎのように跳ね上がるという意味もあり、卯年は何かを開始するのに縁起がよく、希望があふれ、景気回復、好転する良い年になると言われています。三川っ子たちには、躍動するうさぎのように、目標に向かって飛躍し成長する年として頑張ってくれることを期待しています。



祝 創立140周年 【令和4年度】 創立記念日 2023年1月21日(土)

先月号でもお知らせしたとおり、本校は1月21日（土）に創立140周年の節目を迎えます。写真は、これを記念して、2022年9月29日（木）に撮影した創立記念用の航空写真です。

撮影当日は、校章の図面を校庭に描き、外側の部分に一人ずつ並んで立ち、全校児童が一斉に頭上に色パネルを掲げて、それをドローンにより上空から撮影しました。



全校児童＋職員の人文字による校章



学校(写真中央部)周辺の三川地区の全景



祝140周年記念 旭市立三川小学校 全校児童集合写真（2022年撮影）

全校集合！

（航空写真提供元：株式会社スカイネクスト）

※画像はHP・学校だより用として提供元から特別に使用許可を得ています。画像の転載等はいしなうございます。



<表彰児童紹介>

★旭市小学校音楽会 優秀賞 三川小吹奏楽部 ★



★健歯審査会表彰 歯と口の健康賞ビューティフル★

(6年) 7名



◆校内読書賞受賞者◆

◇ 1 1月末時点で達成した児童のうち、学校だよりにより一部未掲載がありましたので追加させていただきます。

(2年) 2名 (3年) 3名

(4年) 1名

◇ 1月達成 (1月16日以降の達成は次回の2月号に掲載します。)

(1年) 1名 (3年) 1名



◇家庭教育学級(1年)～親子ハーバリウム体験&閉級式～◇

ハーバリウムとは、プリザーブドフラワーやドライフラワーなどを専用のオイルに浸すことにより、手入れの必要なく、みずみずしい状態で、長く花の美しさを楽しめる人気のインテリア雑貨の事です。このハーバリウム体験を、12月16日(月)に家庭教育学級にて講師をお招きし、親子で花選びや配色を考えながらオリジナル作品づくりに取り組みました。子どもたちは、そのできばえに満足げに、さらに親子での活動と

いうことで、笑顔でほのぼのとした時間を過ごしました。そして、1年間の家庭教育学級の活動日程もこの日で終了ということで、閉級式を行いました。

お忙しい中にもかかわらず、ここまで企画運営にあたってくださった家庭教育学級役員の皆様に感謝申し上げます。そして1年生の保護者の皆様、積極的にご参加いただきありがとうございました。

◇4年生社会科見学◇

新年最初の校外学習を4年生で行いました。1月12日(木)に香取市佐原へ出かけ、午前中、佐原の歴史情緒ある町並みと伊藤忠敬記念館を見学しました。伊藤忠敬は、江戸時代に日本国中を測量してまわり、初めて実測による日本地図を完成させた千葉県を代表する偉人です。記念館内所蔵の国宝「伊能忠敬関係資料」を見学し、忠敬の日本地図作成業務を詳しく学ぶことができました。

午後は、水郷佐原山車(だし)会館へ行きました。記念館はユネスコ無形文化遺産(国指定重要無形民俗文化財)の「佐原の山車行事」、「佐原囃子(ばやし)」の伝統と文化を知ってもらうための施設です。

山車・彫刻、日本一の大人形を間近で見学し、関東三大山車祭りに数えられる佐原の大祭への関心を深めました。



校長コラム

★新年を迎えて ～子どもたちに身につけて欲しい「小さな心がけ」～★

この1月15日で新型コロナが国内で初めて確認されてから、丸3年が経過します。子どもたちは、このコロナ禍で、社会全体や大人の考え方の変化、ソーシャルディスタンス、マスク生活等を目の当たりにして育っています。このようなコロナ禍で大人がネガティブな態度や発言を続けると、子どもたちは将来をマイナスに捉えて、「プラス思考で前向きな気持ちを持って育っていくこと、そして優しく思いやりを持って人と関わっていくこと」が育まれにくくなるのではないかと懸念しています。だからこそ、自分たちがやりたいことやできることを増やして、目標や希望を実現する喜びを体験できるようにすることが大切です。そのためのかかりけとして、まずは、毎日のさわやかな挨拶やお礼の言葉「ありがとう」をこころがけたり、植物や動物の世話をしたり、家族や友達の役に立ったりボランティアなど、小さなことからできることを進んで行うことが大切ではないでしょうか。そんな小さな成功体験を積み重ねることで、子どもたちは自己有用感や自己肯定感、そして人への優しさ・思いやりの心を育んでもらいたいと思います。

その意味では、コロナ禍の生活でも、挨拶や返事、お手伝いを通じた人との関わりや身近で出来る小さな親切も、大切な第一歩であると考えます。こうしたことをぜひ、ご家庭でもお話しください。本校職員一同、こうした思いを持って、子どもたちを育ててまいります。引き続き、本年もよろしくお願いいたします。

※参考資料 <小さな親切8カ条> (「小さな親切」運動千葉県本部より引用)

- 1 朝夕のあいさつをかならずしましょう。
- 2 はっきりした声で返事をしましょう。
- 3 他人からの親切を心から受け入れ、「ありがとう」といましょう。
- 4 人から「ありがとう」といわれたら、「どういたしまして」といましょう。
- 5 紙くずなどをやたらにすてないようにしましょう。
- 6 電車やバスの中でお年寄りや、赤ちゃんをだいたおかあさんには席をゆずりましょう。
- 7 人が困っているのを見たら、手つだってあげましょう。
- 8 他人のめいわくになることはやめましょう。

◇学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。◇

過日実施した児童、保護者、職員別保護者アンケート結果については、12月15日付け家庭配付文書にてお知らせしたとおりです。頂戴したご意見については参考にさせていただき、今後の教育活動に生かしてまいります。なお、このアンケート結果のカラー版を、1月より導入した「tetoru」にて、再送付いたします。